服用に際しては、この説明文書を必ずお読みください
また、必要時に読めるよう大切に保管しておいてください

2011年11月改訂

第②類医薬品 新トアージ

⚠ 使用上の注意

してはいけないこと ❌

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと

(眠気等があらわれることがある。)

4. 服用前後は飲酒しないこと

5. 長期連用しないこと

相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満)。
- (5) 高齢者。
- (6) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (7) 次の診断を受けた人。 心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	めまい
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振	そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。

その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

(裏面につづく)

ぜんそく

息をするときゼーゼー、ヒューヒューと
鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

- (1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛。
- (2) 悪寒・発熱時の解熱。

用法・用量

成人(15才以上)	1回	1包
11才以上15才未満	1回	$\frac{2}{3}$ 包
7才以上11才未満	1回	$\frac{1}{2}$ 包
3才以上7才未満	1回	$\frac{1}{3}$ 包
3才未満	服用しないこと	
- 1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用する。
服用間隔は6時間以上おくこと。

〈用法・用量に関連する注意〉

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

成分・分量 1日量2包(1包 1.0g)中

アセトアミノフェン	600mg
エテンザミド	600mg
無水カフェイン	200mg
プロモバレリル尿素	400mg

添加物：乳糖、セルロース、CMC-Ca、ステアリン酸Mgを含有

保管及び取扱い上の注意

1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
2. 小児の手の届かない所に保管すること。
3. 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる.)。

製品についてのお問い合わせは、配置員の方又は下記までお願いします。
株式会社三九製薬 〒930-0314 富山県中新川郡上市町若杉55
電話番号 076-472-1011 受付時間 9:00～16:30(土、日、祝日を除く)

製造販売元

999

株式会社三九製薬
富山県中新川郡上市町若杉55